

令和3年度

学生によるオレンジリボン運動

慶應義塾大学 実施報告書



実施主体 慶應義塾大学看護医療学部有志1年

実施内容 実施期間を通して児童虐待について自分にできることを考える

①事前に取り組んだ内容

まず、児童虐待についての知識を増やすことを第一目標として、主に書籍と論文を読むことで、児童虐待についての理解を深めた。

また、オンラインで参加することができる様々な勉強会に参加し、多くの人と児童虐待問題について意見を交換し合った。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

実施期間には実際にボランティア活動を行い、児童虐待問題に携わっている現場を知ることによって自分にできることを考えた。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年度は、新型コロナウイルスの影響でほとんど対面で活動することができなかったが、その中でもオンラインでできることに積極的に取り組むことができた。

一方で、自分が知識を入れることに留まってしまい、啓発という点では不十分な活動となってしまった。

今回見つかった課題を活かして、来年度も継続的にこの運動に参加したいと考えている。